

政策番号	6	政策分野	文化									
基本方針	くらしのなかに文化芸術がいきいきと息づき、ひとびとの豊かな感性が育まれるとともに、そこで生まれる活力やにぎわいが、まちの活性化につながることをめざして、文化芸術とまちづくりを一体化させた取組を促進する。このような取組を通じて、京都を魅力に満ちあふれた世界的な文化芸術都市として創生する。											
担当局		文化市民局				共管局						
政策に関する 主な分野別計画等		第2期 京都文化芸術都市創生計画, 京都文化芸術プログラム2020 ⁺										
政策の評価												
1 客観指標評価												
政策の客観指標評価				23年度 評価値	32年度 目標値	27 年度	28 年度	29年度評価				
								前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	市民ふれあいステージ出演申込数(件)			103	—	c	c	94	99	94	105.3%	a
2	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数(件)			77	82	a	e	53	99	82	120.7%	a
3	文化施設の年間入場者数(人)			3,125,718	—	e	a	4,401,124	4,089,098	4,401,124	92.9%	b
4	本市が指定、登録した文化財の数(件)			7	—	c	a	8	8	8	100.0%	a
						c	b					a
施策の客観指標評価												
施策番号		施策名						評価				
								27年度	28年度	29年度		
0601		すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり(2指標)						e	b	d		
0602		歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援(3指標)						b	c	c		
0603		世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上(2指標)						a	a	a		
0604		かけがえのない文化財の保護、活用と伝承(3指標)						c	a	a		
		(4施策平均)						c	a	b		
政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価: 施策の客観指標評価＝1:0.5)								27年度	28年度	29年度		
								c	a	a		
2－1 市民生活実感評価												
番号		設問						評価				
								27年度	28年度	29年度		
1		京都では、文化芸術にかかわる活動が盛んである。						a	a	a		
2		市民の生活に文化芸術がとけ込んでいる。						c	b	c		
3		文化・芸術活動によって、京都のまち全体が活気づいている。						b	b	b		
4		文化財が社会全体で大切にされ、地域の活性化にもつながっている。						b	b	b		
		政策の市民生活実感調査総合評価						b	a	b		
2－2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)												
27年度		28年度		29年度								
順位	%	順位	%	順位	%							
18	78.7%	19	78.9%	18	80.0%							

3 総合評価

A	政策の目的が十分に達成されている	28年度	A
【客観指標総合評価】 ☑ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。			
【市民生活実感調査総合評価】 ☑ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。		27年度	B
【総括】 ・京都のまち全体に、文化芸術活動が着実に根付き、文化芸術が日々の暮らしの中に浸透しており、この政策の目的は十分に達成されていると評価する。市民自身がより身近に感じ、実際に活動などに参加してもらえるよう、更に取組を進めることが重要であるとする。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価（客観指標評価＋市民生活実感評価）>

施策番号	施策名	総合評価		
		27	28	29
0601	すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり	C	B	C
0602	歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援	B	B	B
0603	世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上	A	A	A
0604	かけがえのない文化財の保護、活用と伝承	C	A	A

<今後の方向性>

- ①すべての市民が京都のまちを支え、かつ誇りにできる文化芸術創造のまちづくり
 ・文化庁の全面的な移転の決定を踏まえ、文化を基軸としたまちづくりをこれまで以上に推進し、世界的な文化芸術都市・京都の創生を目指すため、継承と創造に関する人材の育成等、創造環境の整備、文化芸術と社会の出会いの促進の3点を重視し、文化芸術によるまちづくりを進める。
- ②歴史に培われた和の文化の継承と新たな創造活動の支援
 ・継承と創造に関する人材の育成においては、伝統芸能文化の更なる創生に向けた取組や、芸術家の育成・活動支援、文化芸術に親しみ、その楽しさを知る子どもたちの育成に取り組む。
- ③世界的な交流を視野に入れた文化芸術環境の向上
 ・ローマシアター京都については、新たな文化創造の場として世界文化自由都市・京都を発信する拠点として魅力ある自主事業の展開に努める。
- ④かけがえのない文化財の保護、活用と伝承
 ・かけがえのない文化財の保護、活用と伝承に向け、引き続き、指定・登録の対象物件調査に取り組む。

政策名	6	文化
-----	---	----

指標名	市民ふれあいステージ出演申込数（件）		
-----	--------------------	--	--

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
------	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

市民ふれあいステージ（市民に文化活動の場を提供し、多くの方が気軽に文化芸術に触れる機会を創出するため、市民参加型の催しとして、毎年10月に開催）への出演申込数

2 指標の意味

文化芸術が市民の日常生活の中に溶け込んでいることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	103	—	平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値	
	27年度	28年度		数値	根拠
数値	94	99	5件増	94	過去5年間（平成23～27年度）の最高値（平成27年度）
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					（H23は国民文化祭に集約されたため非開催） H24 80件、H25 86件 H26 92件、H27 94件

5 評価基準

最新の数値が、過去5年間の
a：最高値以上
b：上中間値（最高値と平均値の間）以上～最高値未満
c：平均値以上～上中間値未満
d：下中間値（平均値と最低値の間）以上～平均値未満
e：下中間値未満

6 基準説明

申込数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値をもとに、基準を設定した。
最高値：94（平成27年度）
平均値：88
最低値：80（平成24年度）

7 評価結果

27	28	29
c	c	a

指標名	京都市芸術文化特別奨励制度応募者数（件）		
-----	----------------------	--	--

担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6 - 0 0 3 3
------	-----------	-----	-----------------

1 指標の説明

京都市芸術文化特別奨励制度（将来に向けて積極的な芸術文化活動を行う、若い芸術家等の育成を目的として奨励金を交付）への応募者数

2 指標の意味

文化芸術の新たな創造活動が活発に行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	77	82	平成24年度～26年度実績の平均値を目指す（京プラン実施計画 第2ステージ）

	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値	
	27年度	28年度		数値	根拠
数値	53	99	46人増	82	平成24年度～26年度実績の平均値
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		82	32年度	120.7%	H24 72件、H25 85件、 H26 90件

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が
a:100%以上
b:90%以上100%未満
c:80%以上90%未満
d:70%以上80%未満
e:70%未満

6 基準説明

達成度100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定

7 評価結果

27	28	29
a	e	a

政策名	6	文化				
指標名	文化施設の年間入場者数（人）					
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－0 0 3 3			
1 指標の説明						
文化施設（動物園，美術館，二条城，無鄰菴）の利用者数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
幅広い市民が多彩な文化芸術に親しんでいることを示す指標		出典：事業担当課調べ				
4 数値						
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 3,125,718	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度実績の最高値を目指す			
	前回数値 27年度 4,401,124	最新数値 28年度 4,089,098	推移 312,026人減	単年度目標値 数値 4,401,124	根拠 過去5年間（平成23～27年度）の最高値（平成27年度）	達成度 92.9%
	全国順位	中長期目標			備考 H23 3,399,819人 H24 2,931,984人 H25 3,304,860人 H26 3,024,215人 H27 4,401,124人	
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が，過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満		利用者数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較するため，過去5年間の数値をもとに，基準を設定した。 最高値：4,401,124（平成27年度） 平均値：3,412,400 最低値：2,931,984（平成24年度）		27 28 29 e a b		

指標名	本市が指定，登録した文化財の数（件）					
担当部室	文化芸術都市推進室	連絡先	3 6 6－1 4 9 8			
1 指標の説明						
本市が指定，登録した文化財の数						
2 指標の意味		3 算出方法・出典等				
かけがえのない文化財が保護されていることを示す指標		算出方法：事業担当課調べ 出典：京都市教育委員会告示				
4 数値						
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値 7	平成32年度目標値 —	根拠 平成27年度～平成31年度の指定，登録文化財件数の最高値を目指す			
	前回数値 27年度 8	最新数値 28年度 8	推移 増減なし	単年度目標値 数値 8	根拠 過去5年間（平成23～27年度）の最高数値（平成27年度）	達成度 100.0%
	全国順位	中長期目標			備考 H23 6件，H24 6件 H25 6件，H26 6件 H27 8件	
	数値	目標年次	達成度	根拠		
数値						
5 評価基準		6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～平均値超 c：平均値 d：最低値以上～平均値未満 e：最低値未満		指定・登録件数は毎年変動するものであり，一定安定的な数字と比較するため，過去5年間の数値をもとに，基準値を設定した。 最高値：8件（平成27年度） 平均値：6.4件 最低値：6件（平成23～26年度）		27 28 29 c a a		